

川崎市最大の緑の宝庫「生田緑地」の地質と災害の関係を読み解く

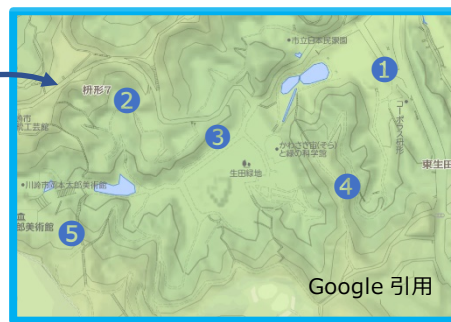
～生田緑地の成り立ちの背景にある歴史とはどのようなものか～

新宿から小田急・小田原線で多摩川を渡ると一気に緑の丘に突入します。それが「生田緑地」。

川崎市最大の緑地であり、“生き物を持ち出したり、他の地域から持ち込んだりしない”という「生田緑地憲章」を掲げ、既存の生態系の保全・育成を行っています。しかし、自然の保全とは、災害との戦いでもあります。

今回の台風被害を受けた生田緑地の生々しい傷跡を直に見ながら、そこにある地形・地質を勉強することで自然（土砂）災害との共存を一緒に考えていきたいと思います。

また、この近辺では、鉄道会社の開発、国立研究機関の痕跡、「防空緑地」から続く貴重な自然、など多様な見どころ・歴史が点在します。その見どころを都心南縁の一部を形成する多摩川とその南の「横山（多摩丘陵）」をセットとして「地学」、「地理学」、「緑地管理」、「近代史」など複数の視点で巡ってみましょう。



- 開催日時 2019年11月30日（土） **9時30分集合** ※小雨決行
- 集合場所 小田急線「向ヶ丘遊園駅」南口
- 会費 会員（高校生以下）：無料 / 一般：500円
- 現地案内 山本栄行（人環5期、川崎市建設緑局生田緑地整備事務所）
小森次郎（帝京平成大学）

【主な行程】

向ヶ丘遊園駅（**9:30集合**）

- 1 生田緑地北口 - 2 飯室山・枅形山 - 3 飯室谷 - 4 かわさき宙と緑の科学館
[昼食] 5 岡本太郎美術館カフェ
- 6 明治大学登戸研究所資料館 - 小田急・小田原線「生田駅」（16時目途・解散）

※小田急沿線最寄り駅にて希望者による一日のふりかえり・懇親会を開催する予定です。

【ご用意するもの】

歩きやすい靴・服装（防寒対策を忘れずに）、雨具、筆記用具、保険証ほか

主催 法政大学人間環境学部同窓会

申込宛先 人間環境学部同窓会 高崎大輔（電話番号 090-3906-2973）

こちらまで E-mail takasaki_d@softbank.ne.jp

締切期日 11月23日（土）